

Istanbul Weekly vol.7-no.22

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2018年6月29日（金）

— 今週のポイント —

- 政治**：エルドアン大統領が再選：得票率 52.6%。
 総選挙の結果：与党連合の「共和同盟」、過半数獲得なるも AKP は過半数割れ。
- 経済**：ムーディーズ：トルコの格付の今後の見直しは新政権の財政健全化能力等による。
 TUSIAD、新大統領に「緊急」で「包括的」な改革を要求。
- 治安**：アンカラとメルシンで選挙に対するテロ攻撃を企図していた ISIL 容疑者を拘束。
 トルコ国民の約 2.7 パーセントが違法薬物を使用との指摘がある。
- 軍事**：アゼルバイジャンの軍事パレードでトルコ国産の長距離ミサイルを展示。
- 社会**：観光客と口論のタクシー運転手に免許取消処分。
 一日遅れの降雹。

政治

【大統領選挙・総選挙】

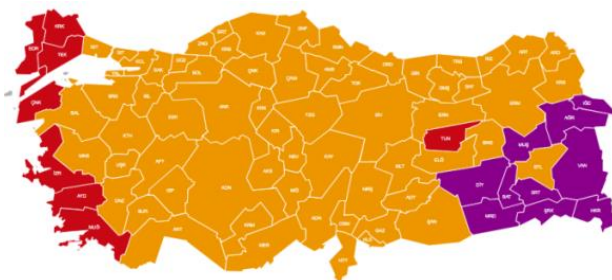
●エルドアン大統領再選：得票率 52.6%

24 日、大統領選挙が実施され、各紙で報道されたデータによれば、第 1 回投票で、現職のエルドアン大統領が 52.6% の得票率で再選され、議員内閣制から実権型大統領制移行後初の大統領となった。野党各政党の候補者の得票率は、インジェ CHP 議員 (30.6%)、デミルタシュ元 HDP 共同党首 (8.4%)、アクシネル優良党党首 (7.3%)、カラモルラオール至福党党首 (0.9%)、ペリンチエキ愛国者党党首 (0.2%) であった。(6 月 25 日付 M 紙 4 面他)

大統領選挙

候補者(党)	全国	イスタンブール
エルドアン大統領 (AKP)	52.6%	50%
インジェ議員 (CHP)	30.6%	36.9%
デミルタシュ元 HDP 共同党首 (HDP)	8.4%	7.2%
アクシネル優良党党首 (優良党)	7.3%	4.8%
カラモルラオール至福党党首 (至福党)	0.9%	0.9%
ペリンチエキ愛国者党党首 (愛国者党)	0.2%	0.2%

(データは、6 月 28 日付 YeniSafak 紙インターネット版より)



トルコ全土得票状況(大統領選挙)オレンジ：エルドアン大統領、赤：インジェ CHP 議員、紫：デミルタシュ元 HDP 共同党首(写真は、6 月 28 日付 YeniSafak 紙インターネット版より)

●エルドアン大統領、AKP 党本部で勝利宣言

25 日、エルドアン大統領は、大統領選挙の結果発表後の、AKP 党本部での勝利演説で、「今回の選挙で勝利したのは 8,100 万人の国民一人一人である。この『民主主義の祝賀会』に参加してくれた国民に感謝する。トルコ国民は、民主主義、権利、自由をどれほど重視しているのかを今回の選挙で再度示した。明日から国民の皆様に対してした約束を実行するため奔走する。」と述べた。(6 月 25 日付 M 紙 4 面)

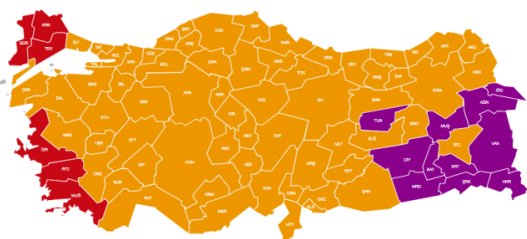


(写真は、6 月 25 日付 CNNTURK.com より)

●総選挙の結果:与党連合「共和同盟」過半数獲得なるも、AKP は過半数割れ

(1)24日、国会議員総選挙(定数600)が大統領選と同時に実施され、各紙報道データによると、AKPとMHPの政党間同盟「共和同盟」の得票率は53.7%となり過半数を超えた。一方で、与党AKPが第1党を確保したものの、得票率42.6%と前回総選挙(2015年11月)の49.5%から約7%減らし、295議席にとどまり、過半数301議席には届かなかった。MHPは得票率11.1%(49議席)を獲得し、前回総選挙の40議席から議席を伸ばした。

(2)野党連合「国民同盟」の得票率は33.9%となった。同連合を構成する最大野党のCHPは伸び悩み、前回総選挙の得票率25.3%から22.6%に減少したが、134議席から12議席増加の146議席を獲得した。総選挙の最低必要得票率10%の「足切り条項」を超えられるか否か注目されていたHDPの得票率は、11.7%で67議席を獲得した。(6月25日付M紙5面他)



得票別トルコ全土(総選挙)オレンジ: AKP、赤: CHP、紫: HDP
(写真は、6月28日付YeniSafak紙インターネット版より)

主要政党の総選挙結果(全国)

政党	2018年6月 総選挙	2015年11月 総選挙
AKP	42.6%	49.5%
MHP	11.1%	11.9%
CHP	22.6%	25.3%
優良党	10.0%	0%
至福党	1.30%	0.70%
HDP	11.7%	10.8%

主要政党の総選挙結果(イスタンブール)

政党	2018年6月 総選挙	2015年11月 総選挙
AKP	42.7%	48.9%
MHP	8.3%	8.6%
CHP	26.4%	30.1%
優良党	8.0%	0%
至福党	1.5%	0.7%
HDP	12.7%	10.3%

(データは、6月28日付YeniSafak紙インターネット版より)

●今後の政治日程について

・7月5日(木)、高等選挙委員会(YSK)が公式の選挙結果を発表。

・7月8日(日)、国会で大統領及び国会議員の就任宣誓式。

・7月9日(月)、エルドアン大統領、第13代目大統領としての職務を正式に開始。

(6月25日付H紙インターネット版)

●インジェ議員「選挙結果を受け入れる。」

24日の大統領選挙で敗北した大統領候補者インジェ CHP 議員は、25日、CHP 党本部で会見を開き、「選挙結果を受け入れられないことは、民主主義と民意に対し無礼である。」と述べ、今回の選挙結果を受け入れる旨述べた。一方で、「私に『我々の

先頭を歩け』と言うのなら、その準備はできている。」と述べ、CHP 党首への意欲を示唆した。(6月26日付M紙17面)



(写真は、6月25日付POSTA紙インターネット版より)

●クルチダルオール CHP 党首、党内からの辞任要求に返答

25日、クルチダルオール CHP 党首は、24日に実施された大統領選挙で、インジェ議員が、CHP が総選挙で獲得した22.6%を大幅に超える30.6%の得票率を獲得したことを受け、一部のCHP 党員から自身に敗北の責任を取って辞任すべきとの要求が出されていることに対して、「党首職に執着している者はCHP に居場所はない。」と反発した。(6月28日付M紙18面他)

【外交】

●各国首脳、エルドアン大統領に祝辞を贈る

(1)25日、安倍総理は、24日の大統領選挙で再選したエルドアン大統領にメッセージを送った。同メッセージで、安倍総理は、「日本国政府と日本国民を代表し、心からお祝いをいたします。今後も、手を取り合って、日本・トルコ関係を、政治、経済及び文化といった多くの分野で更に力強く発展させていきたい。」と述べた。

(2)トウスク欧州理事会議長及びユンケル欧州委員会委員長は、共同で署名した手紙で、「トルコとEUにとって共通の利益の分野である治安、エネルギーや移民といった問題において緊密な取組を続けていくことを楽しみにしている。」と述べた。マクロン仏大統領は、「仏を代表して、閣下及びトルコ国民に最大の敬意を込めて成功をお祈りする。」とメッセージを送った。(6月27日付M紙12面)

経済

【マクロ経済】

●消費者信頼感指数、対前月比0.6%上昇の70.3

21日、トルコ統計庁(TUIK)はトルコ中央銀行との共同調査によるトルコの6月の消費者信頼感指数を発表した。同発表によれば、6月の同指数は5月の69.3から0.6%上昇し70.3となった。また、同指数は、今年最初の4か月間は平均71.95だったが、5月には69.9に下降していた。同指数は、100を上回ると楽観的見通しを、100を下回ると悲観的見通しを示す。(6月22日付HDN紙10面)

●TUSIAD、新国会及び新大統領に「緊急」で「包括的」な改革を要求

25日、トルコ産業・実業家協会(TUSIAD)は、24日の選挙で選出された議員による国会及び大統領は、「緊急」で「包括的」な政治と改革のアジェンダに取り組むべきとの声明を出した。アジェンダには、法の支配及び自由の維持、合理的な経済プログラムの形成、高い水準のインフレ及び経常収支赤字に対抗し得る財政規律、トルコ中央銀行の独立性の確保、成果主義の官僚制度、EU加盟プロセスの加速化が含まれている。(6月26日付HDN紙1面及び10面)

●日本格付研究所(JCR):「選挙後のトルコの内政に関し、不透明感の後退は格付に対しポジティブ」

24日の大統領選及び総選挙の結果を受け、26日、日本格付研究所(JCR)は、「選挙によってトルコの内政の不透明感が減少したことは格付においてポジティブだ。」と発表した。一方で、JCRは、トルコのインフレ率、経常収支赤字等の主要なマクロ経済指標を見れば、2017年9月末に前エルドアン政権が中期計画(MTP)で提案したマクロ経済の不均衡是正措置は計画どおりに進んでおらず、新政権がMTPに定められた目標を達成するかどうか注視し続けるとした。(6月27日付HDN紙10面)

●ムーディーズ:トルコの格付の今後の見直しは新政権の財政健全化の能力次第

26日、ムーディーズは、トルコの格付は、エルドアン大統領が再選後にどのような政策をとるのかによって決まると述べた。同社は6月初旬、トルコの格付の見直しについては、持続可能な成長を促進し、財政を健全化する政策を実施するための次期政権の能力や意思に焦点を当てるとの声明を出していた。(6月27日付HDN紙10面)

●ゼイベキジ経済相:価格が高騰しているタマネギ及びジャガイモの輸入を許可

21日、ゼイベキジ経済相は、タマネギ及びジャガイモについては、特定の国からの輸入を許可すると述べた。イスタンブールでは、タマネギ1kg当たりの価格が過去1か月間で212%上昇し、6.5トルコリラとなった。ジャガイモ1kg当たりの価格も6月に対前月比94%上昇の6トルコリラとなった。また、バターを筆頭にほとんどの乳製品の価格が急激に上昇している。(6月22日付HDN紙10面)

【国際経済】

●トルコ、米国製品に対する報復的追加関税の最終税率発表

26日付けの官報によれば、トルコ政府は22品目の米国製品に対する追加関税率の最終決定を行った。5月22日にトルコが世界貿易機構(WTO)に報告していた追加関税率から更に引上げを行った品目は、ドライフルーツ・ナッツ(5→10%)、米(20→25%)、ウイスキー等蒸留酒(40→70%)、タバコの葉(25→30%)及び自動車(35→60%)となった。一方で、石油化学製品を中心に関税率が引き下げられた品目もあった。(6月28日付HDN紙10面他)

製品	2017年輸入額 (単位:千ドル)	事前発表の 追加関税(%)	最終追加 関税(%)
1 ドライフルーツ・ナッツ	157,381	5	10
2 米	26,307	20	25
3 食品添加物等	32,569	10	10
4 ウイスキー等蒸留酒	20,959	40	70
5 タバコ葉(未加工)	52,271	25	30
6 石炭及びその副産物	325,571	10	5
7 コークス及びその副産物	70,717	10	5
8 石油コークス製品	291,612	5	4
9 化粧品・美容製品	32,510	30	30
10 ポリ塩化ビニール(PVC)	103,887	32	25
11 ナイロン・ポリマー製品	34,591	10	5
12 プラスチック製品	32,650	30	30
13 薪及び木製品	90,634	15	5
14 未コーティングの紙及び板紙	41,714	10	10
15 未コーティングのクラフト紙	106,711	10	10
16 色紙	31,456	25	25
17 酢酸セルロース	48,353	30	30
18 鉄鋼構造物及びその部品	90,031	30	30
19 遠心力ポンプ	31,826	10	10
20 機械及び機械設備	29,906	10	10
21 自動車及びその他の車両	86,976	35	60
22 医療用等×線機器	36,112	5	5

(上記一覧は、6月28日付HDN紙10面にに基づき当館が作成)

●米国の対イラン制裁、トルコは不参加を表明

27日、ゼイベキジ経済相は、対イラン制裁を求める米国の要求には従わないことを言明した。26日、米国は11月までにイランからの原油輸入を停止することを関係国に要求した。しかし、同相は、トルコとしては国連の決定には従うが、基本的に自国の国益のみを追求すると述べた。また、この制裁によりトルコとの友好国であるイランが不当な扱いを受けないよう注意を払うと付言した。(6月28日付HDN紙1面及び10面)

【エネルギー】

●マルマラ海での1,200メガワットの洋上風力発電プロジェクトの入札開始

21日、トルコ政府は、マルマラ海のサロスやガリポリを候補地とする1,200メガワットの洋上風力発電プロジェクトの入札を開始した。エネルギー・天然資源省によれば、世界最大規模で、トルコでは初となる同プロジェクトの申請は、10月23日まで受け付けられる。1メガワット/アワーの上限価格は8米ドルに設定され、最低入札価格が争われる。(6月22日付HDN紙10面)



(写真は、6月21日付HDN紙インターネット版より)

【企業の動き】

●ターキッシュ・エアラインズ、第三空港への移転費用に融資する金融機関を調整中

ターキッシュ・エアラインズが、イスタンブール第三空港における施設建設費用調達のため、8億米ドルから10億米ドル規模の融資について、トルコのイシュ銀行、ヤブ・クレディ銀行、オルタナティブ銀行及びジラート銀行、中国の中国工商银行等と交渉を行っていることが明らかになった。(6月28日付HDN紙11面)

治安

【ISIL関係】

●アンカラとメルシんで選挙に対するテロ攻撃を企図していたISIL容疑者を拘束

22日、警察は、アンカラにおいて、24日の大統領選及び総選挙に対するテロを準備していたとしてISIL容疑者14名を拘束し、プロパガンダ用の電子データを押収した。また、メルシン県でも、同様に選挙に対するテロ攻撃を指揮する可能性があったとして、ISIL容疑者6名が拘束された。(6月22日付S紙インターネット版)



(写真は、6月22日付HDN紙インターネット版より)

【PKK 関係】

●アンカラで選挙の妨害を企図していた PKK 容疑者 11 名を拘束

23日、警察は、アンカラにおいて24日の大統領選及び総選挙を妨害する行動を計画していた疑いでPKKの容疑者11名を拘束した。(6月23日付HDNインターネット版)

●治安機関が過去1週間にPKK戦闘員24名を無力化

25日、内務省は、過去1週間において、2,945回のテロ対策オペレーションの実施によって、PKK戦闘員24名を無力化(殺害12名、拘束7名、投降5名)し、複数のシェルターや洞窟を破壊するとともに、銃器24丁と弾薬560発を押収したと発表した。(6月26日付HDNインターネット版)



(写真は、6月26日付HDNインターネット版より)

【その他】

●トルコ国民の約2.7パーセントが違法薬物を使用との指摘がある

トルコは、欧州とアジアを結ぶ違法薬物の密輸ルートとなっており、国民の約2.7パーセントが違法薬物を使用しているとの指摘がある。トルコ政府は、2014年に薬物対策のためのアクションプランを策定し、薬物対策に特化した警察チームを組織するとともに、広く一般市民から情報提供を得るための謝礼金制度を導入した。警察によれば、トルコには、国際的な違法薬物密輸グループが30以上存在し、PKK等のテロ組織が違法薬物により資金を獲得していることも問題となっている。(6月27日付S紙インターネット版)

軍事

●アゼルバイジャンの軍事パレードでトルコ国産の長距離ミサイルを展示

26日、アゼルバイジャンにおいて、アゼルバイジャン国軍創設100周年パレードが催され、トルコ初の国産長距離ミサイルとしてロケットサン社が生産した「SOM-B1」が展示された。同パレードには、トルコ軍のアカル参謀総長を始め、各国の代表が出席した。(6月27日付HDNインターネット版)



(写真は、6月27日付HDNインターネット版より)

社会

●観光客と口論のタクシー運転手に免許取消処分

23日、イスタンブール市シリ区ニシャンタシュで、タクシー運転手が渋滞に巻き込まれたことが原因で乗客の外国人観光

客と口論となり、乗客を強制的に下車させた事件が発生した。通行人が撮影した口論の様子の動画がSNS等で拡散したことを受け、イスタンブール・タクシー協会は、このタクシー運転手の運転手業免許の取消しを申し入れ、市は承諾した。(6月26日付HT紙20面)



(写真は、6月23日付HT紙インターネット版より)

●降雷注意報が発令

26日、気象庁は、トラキア地方及びマルマラ地方に降雷注意報を出した。昨年の激しい降雷で多くの車が被害を受けたため、市民は自家用車を地下駐車場などに移動。市内の屋内駐車場はどれも満車となった。屋外に駐車せざるを得ない車の所有者たちは古い絨毯や毛布、段ボールなどでフロントガラスなどを覆い降雷に備えた。(6月27日付H紙6面他)



(写真は、6月27日付HT紙インターネット版より)

●市内の急坂にエスカレーター導入

イスタンブール市は高齢者や身体障害者に考慮し、市内の数か所の急な坂にエスカレーターを設置する。設置工事は7月23日に行われる入札の後、ベイオール区にあるエンリ坂(85メートル)、ファーティヒ区のフィル坂(50メートル)、エユップ区のネシェ通り(50メートル)で開始される。(6月27日付HT紙20面)

●アタキョイにオリンピック・プール

青年スポーツ省は、バクルキョイ区にあるシナン・エルデム・スポーツ・センターの隣に飛び込み台を擁するオリンピック対応サイズのプールと200人が宿泊できるスポーツ施設を建設する。500㎡のアーチェリー場も併設するこの施設は2019年7月に完成予定。(6月27日付HT紙20面)

●27日夜に一日遅れの降雷

イスタンブールで26日に予想されていた雷は、一日遅れの27日夜、雷と激しい雨と共に降り、街路樹が折れたり下水管が溢れたりするなど各地で被害をもたらした。アタテュルク国際空港ではいくつかの飛行機が着陸できずに上空で旋回待機し、うち6機は他の空港での着陸を余儀なくされた。(6月28日付H紙8面他)

注：本文中の略語の正式名称は以下の通りです。

機関・団体等

略語	正式名称	略語	正式名称
AFAD	首相府緊急災害事態対応総局	PKK	クルディスタン労働党
AKP	公正発展党	PYD	シリア民主主義連合党
BDDK	銀行規制監督庁	RTUK	ラジオ・テレビ高等機構
BOT	建設・運営・譲渡方式	SNC	シリア国民評議会
CHP	共和人民党	SPK	証券取引監査院
DHKP/C	革命人民解放党/戦線	TBB	トルコ弁護士協会/トルコ銀行協会
DHMI	国家航空局	THY	ターキッシュ・エアラインズ
HDP	国民民主党	TIKA	トルコ協力発展機構
IDO	イスタンブール海上フェリー会社	TOKI	トルコ集合住宅開発局
ISO	イスタンブール工業会議所	TPAO	トルコ石油公団
ISID	イラク・レバントのイスラム国	TUBITAK	トルコ科学技術研究機構
ITO	イスタンブール商業会議所	TUIK	トルコ統計庁
KRG	クルディスタン地域政府	TUPRAS	トルコ石油精製会社
MHP	民族主義者行動党	TUSIAD	トルコ産業・実業家協会
MIT	国家情報庁	YOK	トルコ高等教育評議会
MUSIAD	トルコ独立産業家・実業家協会	YSK	選挙高等委員会

引用メディアの略称

略語	正式名称	略語	正式名称
A	Aksam	HDN	Hürriyet Daily News
AA	Anadolu News Agency	HT	Haberturk
AFP	Agence France Presse	IA	Ihlas News Agency
Cumhuriyet	Cumhuriyet	IP	Interpress
D	Dünya	M	Milliyet
DA	Doğan News Agency	P	Posta
DS	Daily Sabah	S	Sabah
H	Hürriyet	V	Vatan

在イスタンブール日本国総領事館

電話：0212-317-4600、FAX：0212-317-4604、E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

Facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新たに配信希望される方、あるいは今後の配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp

【被害】

イスタンブール邦人被害統計								
2018.1.1～2018.6.28 ※総領事館に訴出があったものを集計								
	窃盗		詐欺		ぼったくりバー		高額絨毯購入(相談)	
	今週	通算	今週	通算	今週	通算	今週	通算
2017年		12件		2件		14件		0件
2018年	1件	8件	1件	2件	0件	10件	0件	3件